

ほっと



“のんびり交流会”の会場

人生を振り返り、私のことを語る♪これからの夢も♪ “ペテランの仲間が集まり”のんびり交流会”を開催♪

1月16日(火)、そらホールでペテランの仲間12人が集まって“のんびり交流会”が開催。社会福祉法人コスモスの各施設に高齢の仲間たちが増えてきた2015年に、高齢の仲間たち同士で集まって、作業所を越えて交流・共感してというところ。のんびり交流会”が始まりました。

今年で7回目(コロナで2年中止)の開催です。“のんびり”という名称も仲間たちで考えた名前。仲間一人ひとりが職員とともにパワーポイントで写真を映しながら話していきます。

●Aさん

小さい時にひきつけを起し、お父さんが病院に連れて行ってくれました。治るように一生懸命

に祈ってくれました。

養護学校時代は、体育のイケメンの先生が大好きでした。学校卒業後、おしほりの会社に勤めてお仕事頑張っていたけど、厳しいと言われて身体がしんどくなつて5年で辞めました。その後は、お母さんと自宅で内職をしました。

そして、作業所でお菓子作りの仕事をして、仲良しの友だちができて二人でよく喫茶店に行きました。みんな旅行に行つたのが楽しかったです。特に、「しあわせの村」に泊まったのが楽しかったです。コロナで旅行に行けなくなり残念でした。また、大好きだった仲間が先に旅立っていきま

した。若い時に結婚できていたらなうと思います。最近、だんだん眼が

見えなくなり白内障の手術をしました。良く見えるようになりました。今は純烈のファンになりました。

私も、将来はグループホームの生活もしてみたいです。

●Bさん

豊中出身、三重県の高校(私立)へ。お父さんの仕事の関係で山形へ。十三のホテル(フロント)で13年間働きました。新

聞の配達もしました。60歳になってS作業所に。清掃の仕事。今後は、健康を維持して、楽しく暮らしたいです。

●Cさん

中学卒業後、自転車のハンドドル部分をつくる仕事をしていました。2003年に作業所に。下請け班で百均の商品の袋入れ作業。仕事以外では、仲間や職員と話をする

ことが大好きです。

今年からグループホームに入居。少しずつ慣れてきて、楽しくなってきました。

●Dさん

楽しかったことは、夏祭りのど自慢大会で一位になったこと。

これからは、仕事もだけど、余暇を充実させたいです。将来は、行ったことのないところへ旅行に行きたいです。

●Eさん

今までは、作業所で宅配弁当の仕分けの仕事をしています。

高齡者施設のトイレの清掃が大変でした。今は給食班。一番好きな仕事は、ランチの盛り付けが楽しい。

映画やドラマを家のテレビで見るのが好きです。

USJに行った、海遊館、神戸でのかまぼこ作り等の旅行が楽しかった。給料は貯金しています。



グループホーム春日に展示されている幅3m程ある仲間の作品

きいグループホームに入つてみんな生活したいです。

まだまだ、沢山の方々のお話がありました。紙面には収まりません。時間オーバーで質問時間も取れずじまい。

最後に、“ともだちの歌”をみんなで歌って、若い時からの人生を振り返ることは、これからの一人ひとりにとって、とても大切ですね。

重度障がい者が入れるグループホームを！

“日中支援型グループホームや入所施設は、絶対に必要！”

堺障連協が「対市懇談会」を開催



対市懇談会で訴える当事者家族

**堺市、法人、家族を協力し
日中支援型グループホーム、
地域拠点を作りましょう**

●Fさん（母親）

息子が2人通所しています。2人は区分6の重度知的障がい者です。作業所では、たくさんの高齢化した仲間や、さらに高齢化した親が自宅で介護をして生活しています。

私たちぐらいの年齢になると、こどもの介護だけでなく、親の介護も、重なりダブル介護の状況で、日々不安と疲れのなかで生活を送っています。

また、自分たちの健康面でも不安がでてくる年齢です。

実際に一人親になりながらも、介護を続けなくてはならない現状です。ロングショートでつなぎながら、いつ、グループホームができるかを待つ状況です。

1日も早く、安心して利用できるショートステイやグループホームを作って頂きたいと願っています。

堺区には、地域拠点がなく自宅で介護している親たちの不安は増すばかりです。

家族会でも、「堺区西区エリアに、日中支援型グループホームをつくり、そこにショートステイや相談事業所を兼ね

備えた地域拠点をつくってほしい」と話し合っています。

日中支援型グループホームは、全国でも、まだ少なく、どんなメリット、デメリットがあるか、わかりません。

2月に担当課さんと一緒に学習会をするのになつていきます。よろしく願います。私たち家族だけでなく、堺市さん、法人さんと一緒に協力しながら、作っていききたいです。

堺市さんには、例えば堺市が所有している土地の提供などをお願いしたいです。

●司会者

ずっと希望している家族や利用者がいるが、実際にグループホームに入っていない。補助金確保は年2ヶ所でもいいのか。障がいの重たい人が入れるグループホーム、日中支援型グループホームの拡充の計画はどうなっているのか。

**もう待てない！
なぜ作らないのか！**

●Gさん（父親）

7日の市議会本会議、市会議員の質問に対し、市長は推進するといった。しかし何年もかかっている。市長が言っているのに、なぜ作らないのか。場所もある。土地もある。

図書館の横に堺市の土地もある。はつきりしてほしい。できないことはないはずだ。いかにがんばってほしい。

●Hさん（母親）

Gさんは80歳。母も高齢。通院しておられます。座つぶちの親の言葉です。自分たちも10年後、20年後には同じ発言をするかも知れません。

**日中支援型グループホーム、
入所施設が絶対に必要！**

●Iさん（母親）

国・堺市の助成金を受けてできた「ホーム」は医療ケア者にも対応できるホームで、男女10名が入居していますが、昨年12月10人中3人が入院という時がありました。

一人は復帰していますが、あとの二人は病氣・ケガが回復しても未だホームに戻れていません。

二人ともホーム、作業所に戻りたい意思があると聞いています。しかし今のグループホームでは体制がなく、十分なケアができません。（療養のため）昼間一人の利用者のためにキーパーを常駐させることもできない。でも、「二人でベッドで天井を見て寝させておけばいいのか」と思います。

今、二人はリハビリ病院や、療養型の病棟にいます。実家は80代の保護者で家庭では支援が難しい。何とかグループホームに戻れるように気力を振り絞っている。療養が必要な時に、安心して過ごせるような「日中支援型グループホーム」や「入所施設」が絶対に必要です。堺市独自の補助は出せないのでしょうか。

重要な要件は、勉強したい
◆堺市障害支援課

「日中支援型グループホームは重度を受け入れる重要な受け皿です。勉強が必要だと思っています。デメリット・メリット勉強していきたい」と発言されていました。

「成年後見制度に関するアンケート調査」に 400通を超える回答を頂きました！

年末年始という超多忙の時期にお願いしましたが、400通を超える方々から回答を頂きました。本当にありがとうございました。

今後の予定ですが、7月頃には「報告書」として冊子にまとめ、「報告集会」も開催して公表する予定です。よろしくお願いします。